

自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒



しただの郷学園
下田中学校便り第7号
令和2年10月28日発行



文責 校長 小林貴英



小学校の先生たちが参観

中学生として しっかり成長しています

“中学生の頑張る姿をぜひ見たい”という小学校からの要望があり、9月末日から3日間、1限から6限まで自由に参観していただきました。総勢約15名の先生が訪問し、たくさん褒めていただきました。

「中学生らしい態度で授業を受けていて安心した」「懐かしい顔みることができ嬉しかった」「あいさつが本当にさわやか」「立派になったんだなあ」「小学生を連れてきて、中学生の素晴らしい姿を見せたい」 日々の成長は気づきにくいものですが、下中生は確実に前進しています。

いよいよ合唱コンクールです 10月31日(土)

今年の合唱練習(音楽の授業、昼休み等)は、マウスシールドを装着して取り組んでいます。口元が見え、声も出しやすくなりました。使用後は毎回しっかりと洗浄した後、個々のビニール袋に入れて保管しています。

先生不在のパート練習でも、リーダーを中心に熱心に練習している姿があります。完成間近の合唱曲。今週末の本番が待ち遠しいです。



マウスシールド



使用後の洗浄

“違い”は“間違い”ではない ～全校朝会 校長の話より～

ある新聞記事を紹介します。

日本のある航空会社が機内アナウンスで使う“Ladies and gentlemen”というセリフを止め、“All passengers”や“Everyone”に代えることにしたということです。理由は、無意識に性別を前提とする表現を使っていたからだそうです。

確かに英単語においても、police man が police officer に、waiter や waitress が server に代わっています。日本の学校の名簿も同様です。男女を分ける必要のない場面では分けないという動きが数年前から広がってきています。

最近よく耳にするLGBTについても私たちは理解しておくことが必要ですし、性別に限らず世界には様々な人たちがいるということを改めて確認したいところです。人の顔がそれぞれ違うと同様に、肌の色も、性格も、考え方も違うことは当たり前のことです。勉強が得意な人、絵を描くのが上手な人、スポーツが苦手でも楽器の演奏ができる人、などなど。

これらは“違い”であって“間違い”ではありません。自分と違う人を否定したり非難したりする人が世の中にはときどきいますが、そういう行為が“間違い”です。大切なことは“誰もが違う”ということを知ること。世の中にいる様々な人たちと上手に関わりながら、皆が平和でいられる世界を創造することが、私たちには求められています。

先日、1年生の社会の授業で、「ブラジルからの輸入を続けるべきか」について、賛成と反対の意見を主張し合う姿を見ました。討論を終えた生徒たちは皆笑顔でした。いろいろな考えの人がいるから楽しいのだと思います。



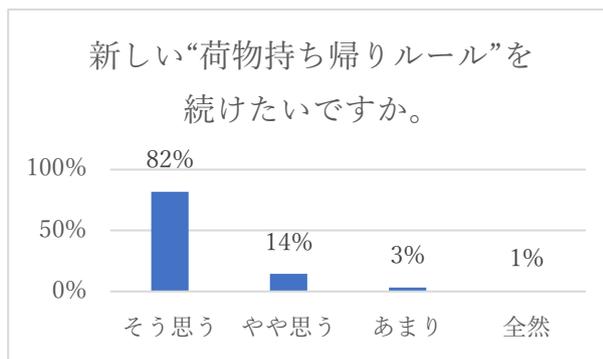
中庭の木々が色づき始め、秋を感じます。その秋の気配を、さっそく冬囲いが隠しつつあります。早すぎますか？・・・いいえ。広い敷地を佐藤管理士が一人で作業するため、のんびりはしてられないのです。

生徒玄関前の消雪パイプが新しくなりました。冬に向けた準備が進んでいます。



荷物持ち帰り アンケート結果

9月から、家庭学習に必要な道具を自分で判断して持ち帰ることにしました。(これまでは、美術の教科書のように家庭学習では使用しないもの以外は原則持ち帰ることとしていました。) 1か月間実施した後の生徒アンケートの結果をお伝えします。(右グラフ、下コメント)



◆肯定評価のコメント

- ・自転車で転びそうなことが何度かあった。・青カバンに全部入りきらない時があった。・必要な学習用具を考えることができる。・自分はバス通だからいいけれど、徒歩や自転車通学の人が辛そうだった。・部活動の道具とあわせるとすごく重かった。・すべて持ち帰っても使わないことが多かった。・たくさん持ち帰っても全ての勉強はできない。・重いカバンが原因と思われる腰痛になった。
- ・自分で物事を決めることは大切だと思う。・計画性が身につくことで生活も改善されると思う。・自分で考えることで忘れ物が減ると思う。・自立できる。・自分で考えて持ち帰るから、進んで取り組める。・自分で考えることで責任感が身につくと思う。・自主性を付けるために続けたい。
- ・考査期間はすべて持ち帰ったほうが良いと思う。・考査期間中だけは置き勉チェックをしたほうが良い。・私は今までのやり方が簡単で、重さも苦になっていない。・課題等、持ち帰るべきものを忘れないようにしなければ。

◆否定評価のコメント

- ・家で確認したいことがあるとき、ないと困る。・たくさん勉強したい時はたくさん持って帰れば良いから結局変わらない。・もしものために全部持ち帰っているから。・持ち帰らなくても良いことにすると、普段学習していない人は本当に勉強しなくなると思う。・教科書は持って帰るものだと思う。・今まですべて持ち帰っていたので、急にその習慣を崩すのは少し気が引ける。・すべて持ち帰ることが習慣になっている。・逆に勉強をやらなくなってしまいそう。

カバンが軽くなることで登下校時の体への負担が減ります。したがって、肯定的回答が多くなるのは当然の結果です。

“軽くなった喜び”を実感するだけでなく、自主性、計画性、責任感という部分を忘れないようにし、これからも“自分で考える下中生”を目指していきましょう。

この取組は今後も継続します。



新人大会 結果

水泳
1位

卓球
団体ベスト8

男子バスケ
健闘 惜敗

女子バスケ
ブロック優勝

水泳
1位



野球
ブロック優勝

陸上
自己ベスト
多数

サッカー
ブロック優勝

剣道
団体2位
個人1位

ソフトテニス
団体優勝

バレー
ブロック3位

吹奏楽部 引退コンサート

(9月20日)

たくさんの保護者の方々が来場し、
感動的なラストコンサートになりました。

